

# 土木学会 見える化データ 2013（詳細版）

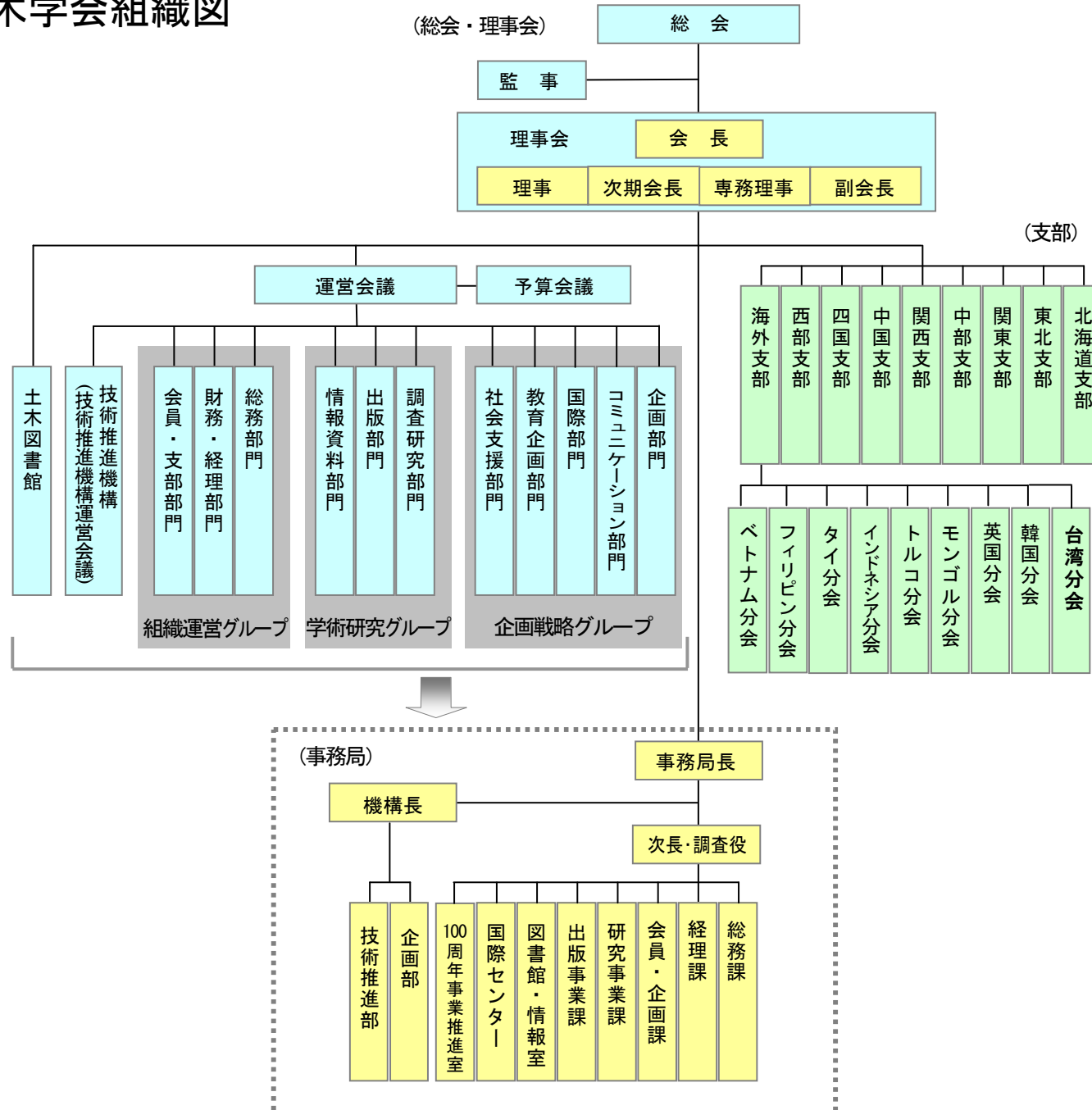
## 1. 土木学会の基礎数値

- 土木学会は、2014年に創立100周年を迎える公益社団法人です。
- 学会個人会員数は約30,000人、その多くは企業に所属する土木技術者です。
- 土木学会には、30以上の研究委員会が設置され、多くの学会員が参加し活発に活動しています。
- ここでは、土木学会の2012年度の活動のうち、社会支援、社会とのコミュニケーション、社会への直接的貢献を目的とした活動などを抜粋して紹介します。
- 多くの皆様にご覧いただき、開かれた学会として、より良い方向へ発展し続けていきたいと考えています。

2014年2月9日

土木学会 企画委員会

# 1-1-1-1 土木学会組織図



2013年4月現在

## 1-1-2-1 会員区分別会員数

(人)

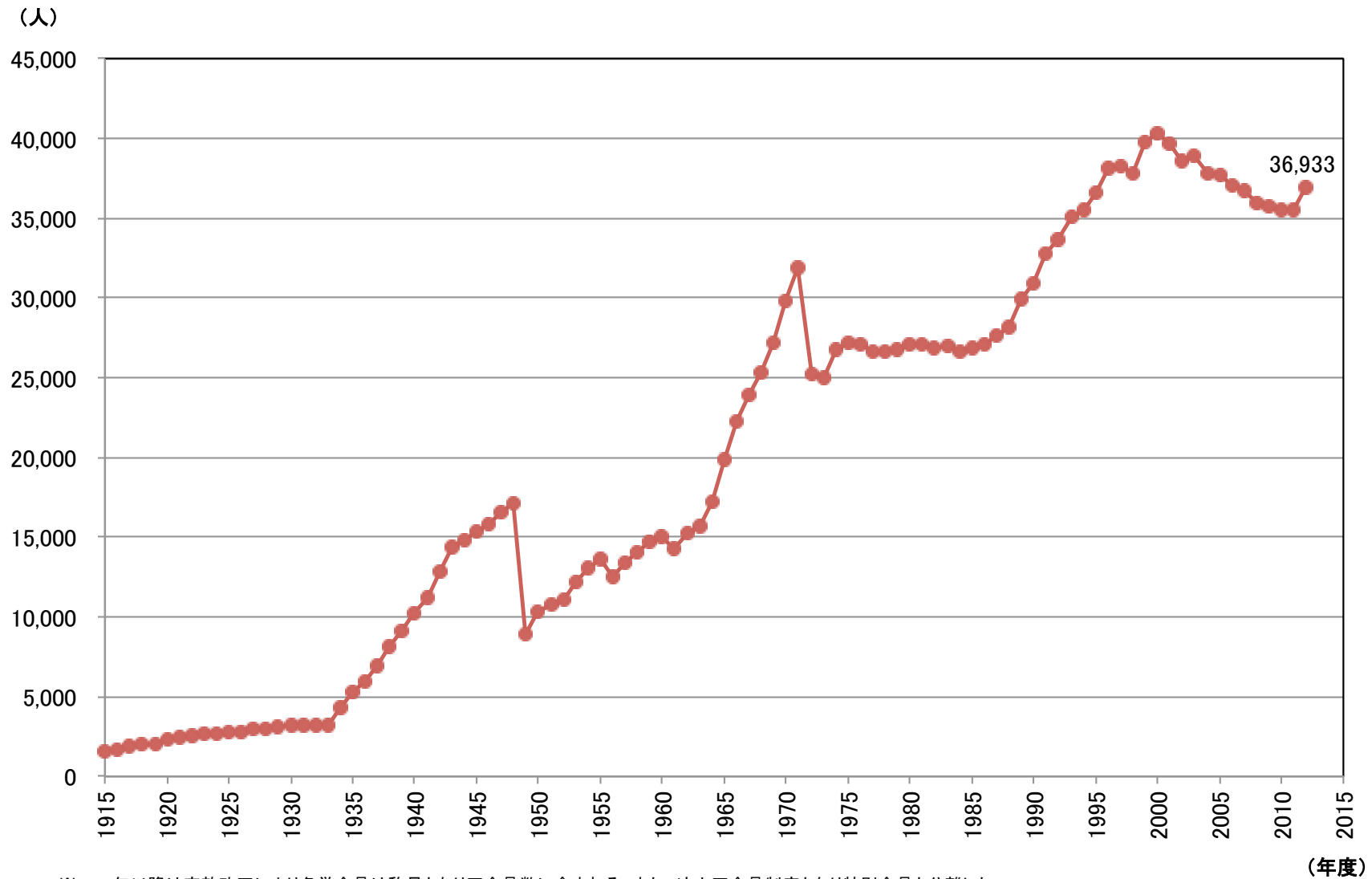
正会員	学生会員	特別会員	合計
31,535	4,936	462	36,933

※2013年3月末日現在。  
 ※正会員は、個人正会員数と法人正会員数の合計。

年	月	日	正会員(個人)			学生会員			正会員(個人)+学生会員		
				うち女性			うち女性		うち女性		
2013	3	31	31,060	838	2.7%	4,936	574	11.6%	35,996	1,412	3.9%

※2013年3月末日現在。  
 ※土木学会誌 2013年5月号掲載の数値。

## 1-1-2-2 (1) 会員数の推移



※1984年以降は定款改正により名誉会員は称号となり正会員数に含まれる。また、法人正会員制度となり特別会員と分離した。

※正会員数は、個人正会員数と法人正会員数の合計。

※1944、1945年は推計値。

※1949、1971年に大幅な会費未納会員の整理を行なった。

※1914年～1943年については、40年史データ

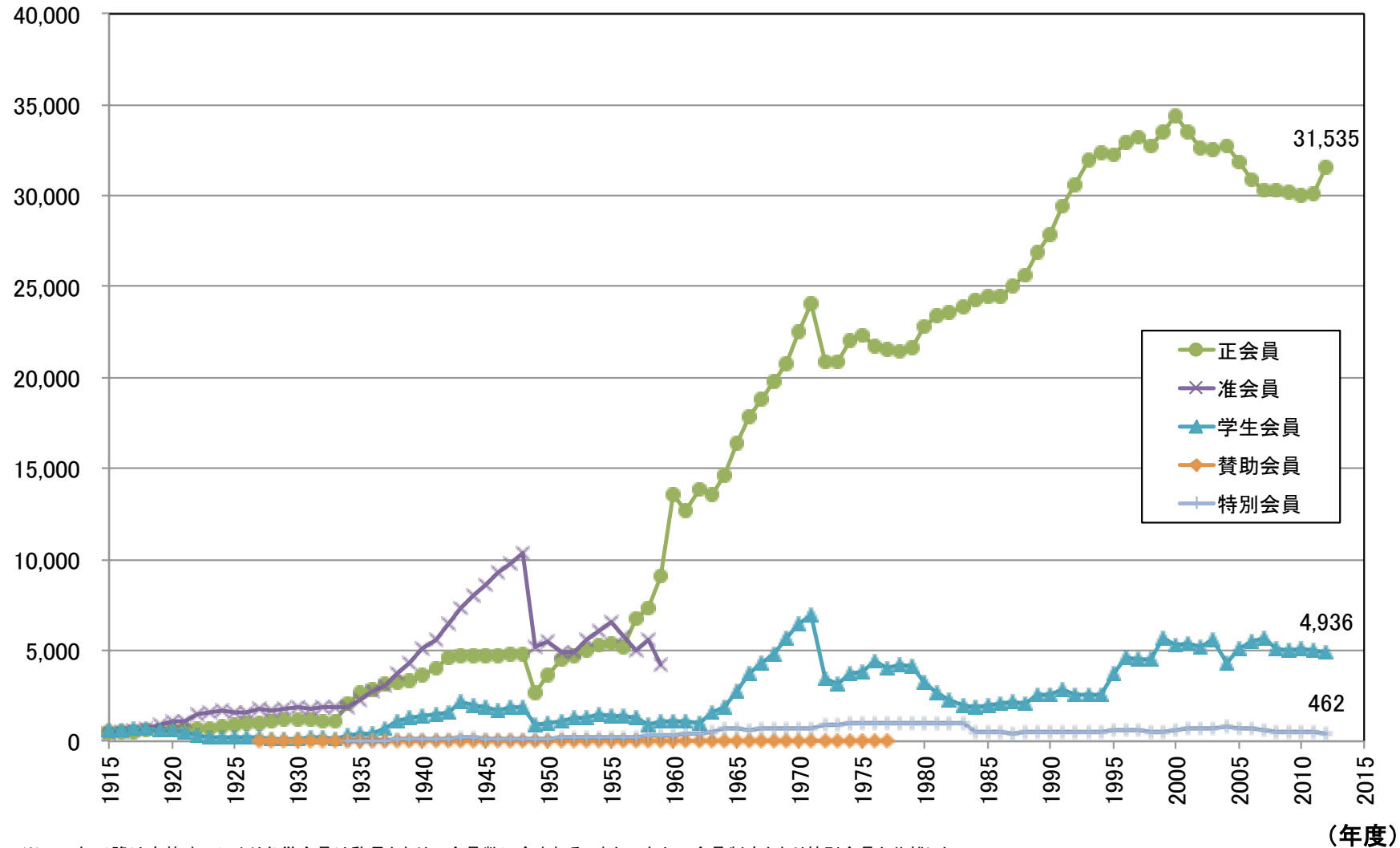
※1946年～1994年については、80年史データ

※1995年～2003年については、90年史データ

※2004年からは会員課(現 会員・企画課)調べ

## 1-1-2-2 (2) 会員区別会員数の推移

(人)



※1984年以降は定款改正により名誉会員は称号となり正会員数に含まれる。また、法人正会員制度となり特別会員と分離した。  
 ※正会員数は、個人正会員数と法人正会員数の合計。

※1944、1945年は推計値。

※1949、1971年に大幅な会費未納会員の整理を行なった。

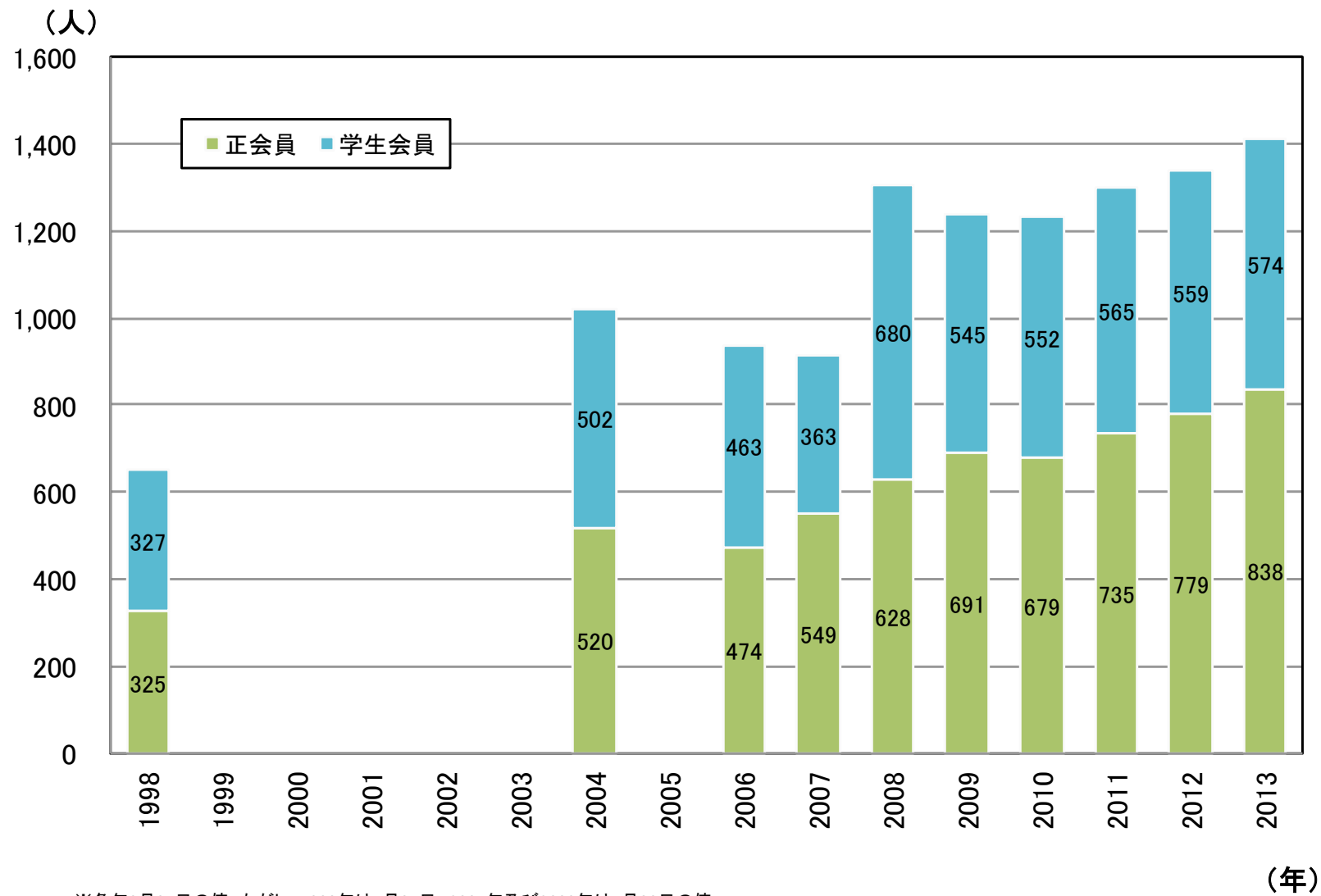
※1914年～1943年については、40年史データ

※1946年～1994年については、80年史データ

※1995年～2003年については、90年史データ

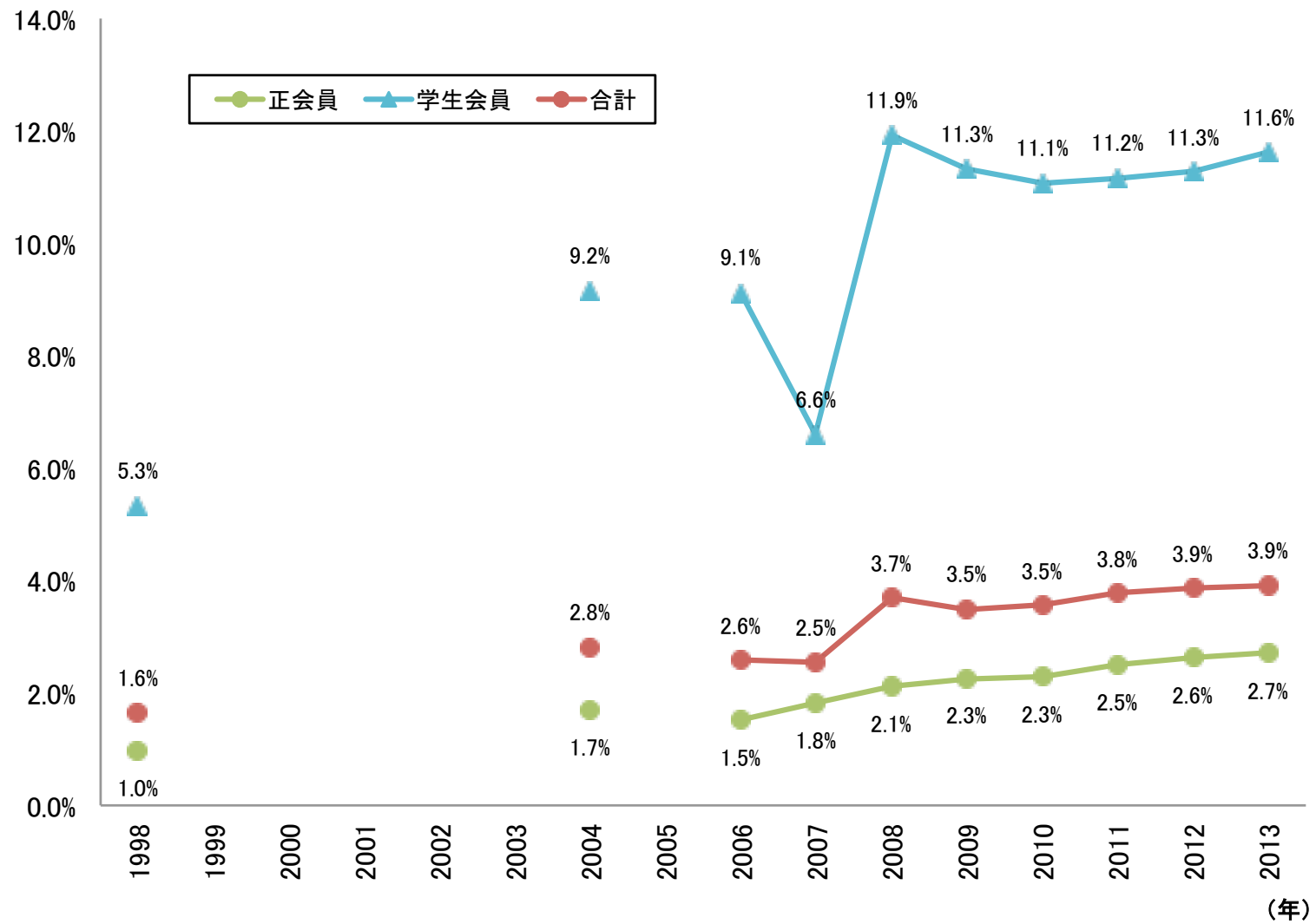
※2004年からは会員課(現 会員・企画課)調べ

### 1-1-2-3 (1) 女性個人会員数の推移



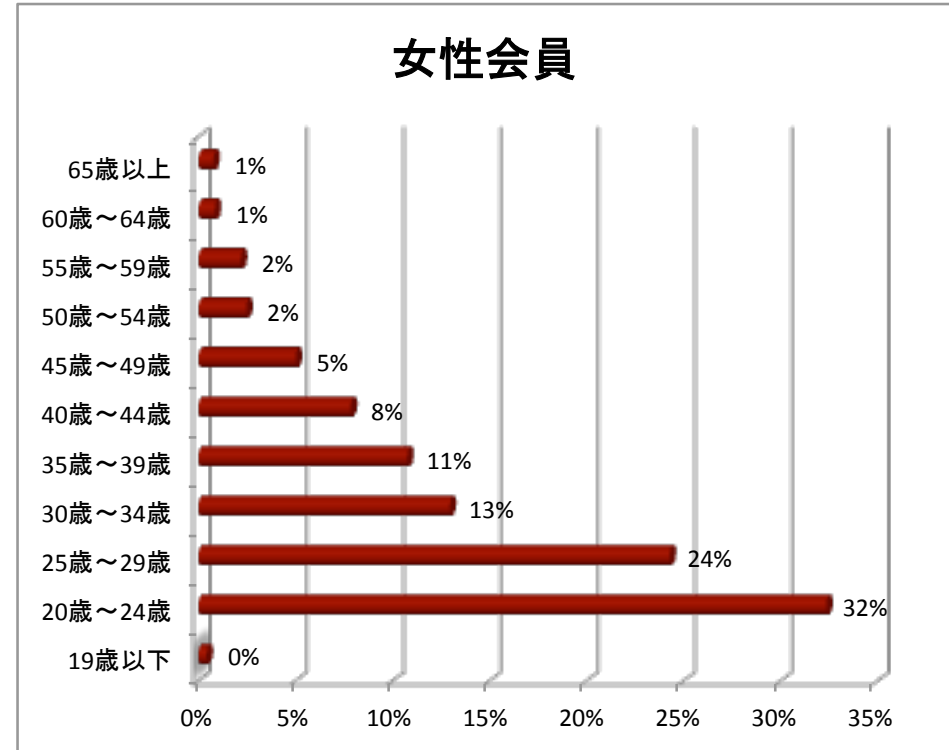
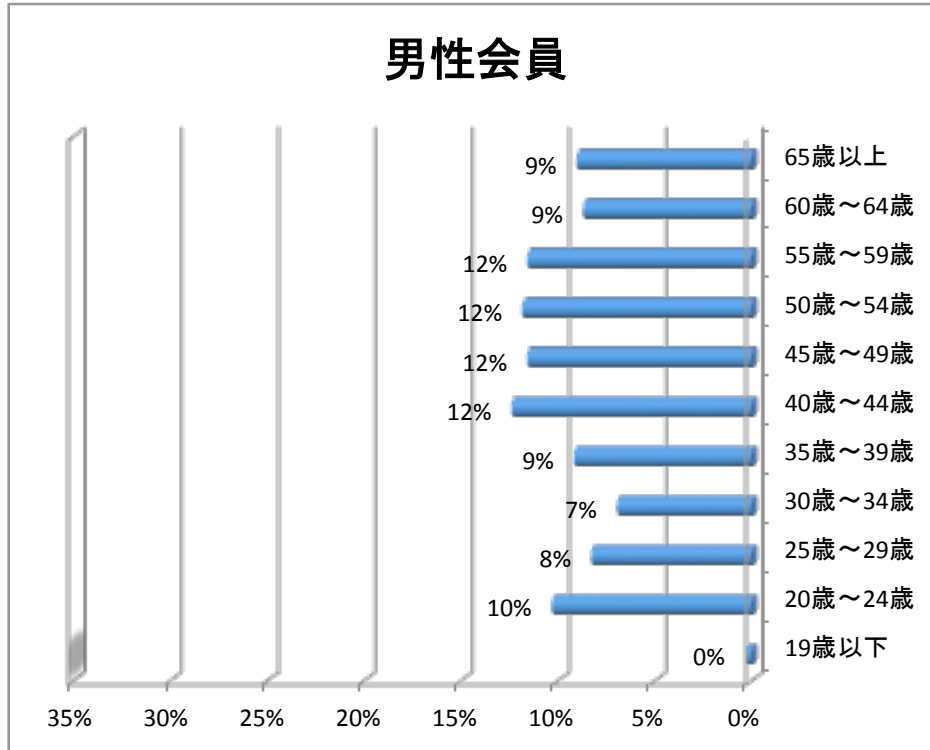
※各年3月31日の値。ただし、1998年は1月31日、2004年及び2009年は4月30日の値。  
※教育企画・人材育成委員会 ダイバーシティ推進小委員会調べ。

### 1-1-2-3 (2) 女性会員の割合の推移



※各年3月31日の値。ただし、1998年は1月31日、2004年及び2009年は4月30日の値。  
 ※正会員は、個人の正会員に占める割合。  
 ※教育企画・人材育成委員会 ダイバーシティ推進小委員会調べ。

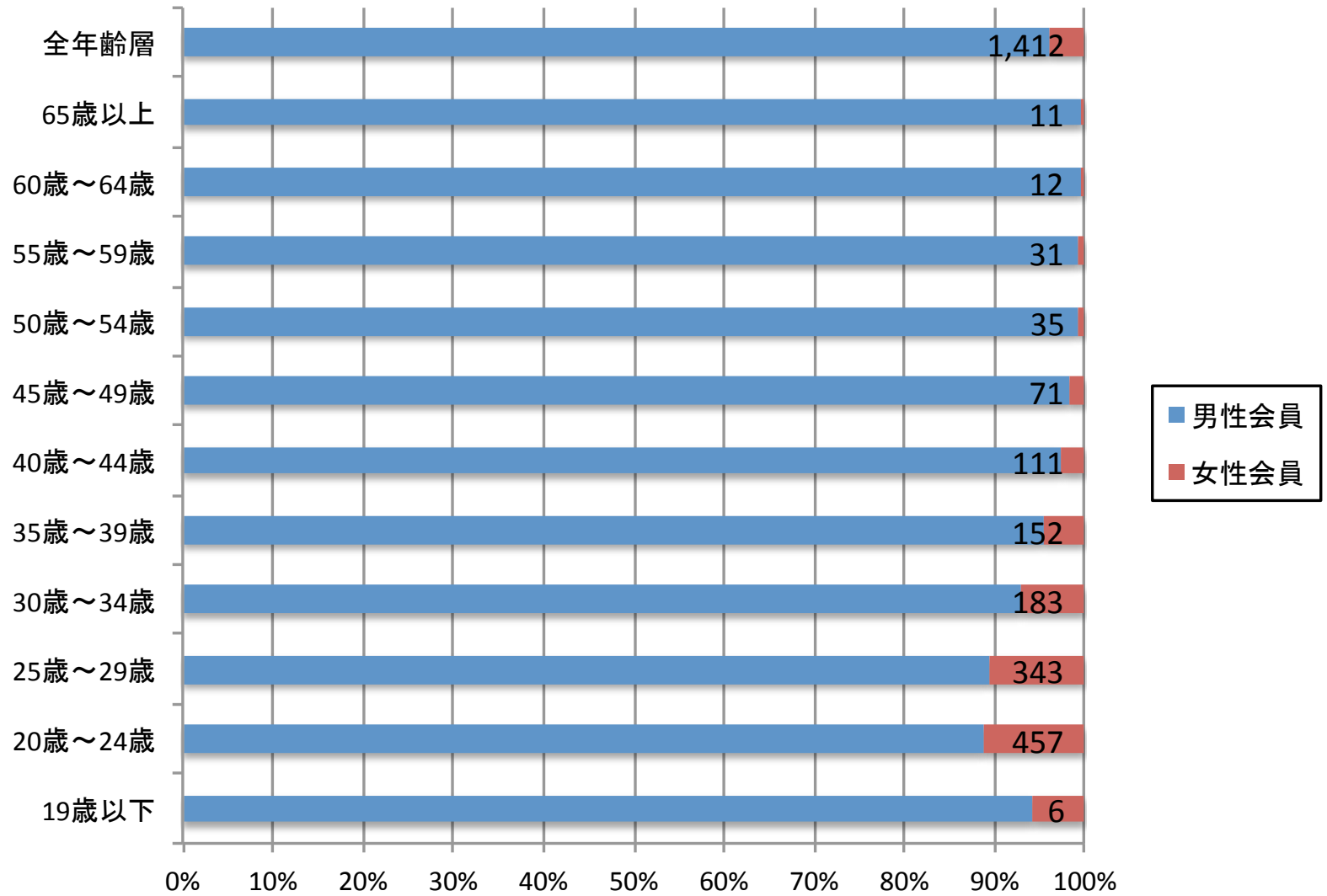
## 1-1-2-4 (1) 性別年齢階層別会員構成



※2013年3月末現在。個人会員(正会員+学生会員)の合計。  
 ※教育企画・人材育成委員会 ダイバーシティ推進小委員会調べ。

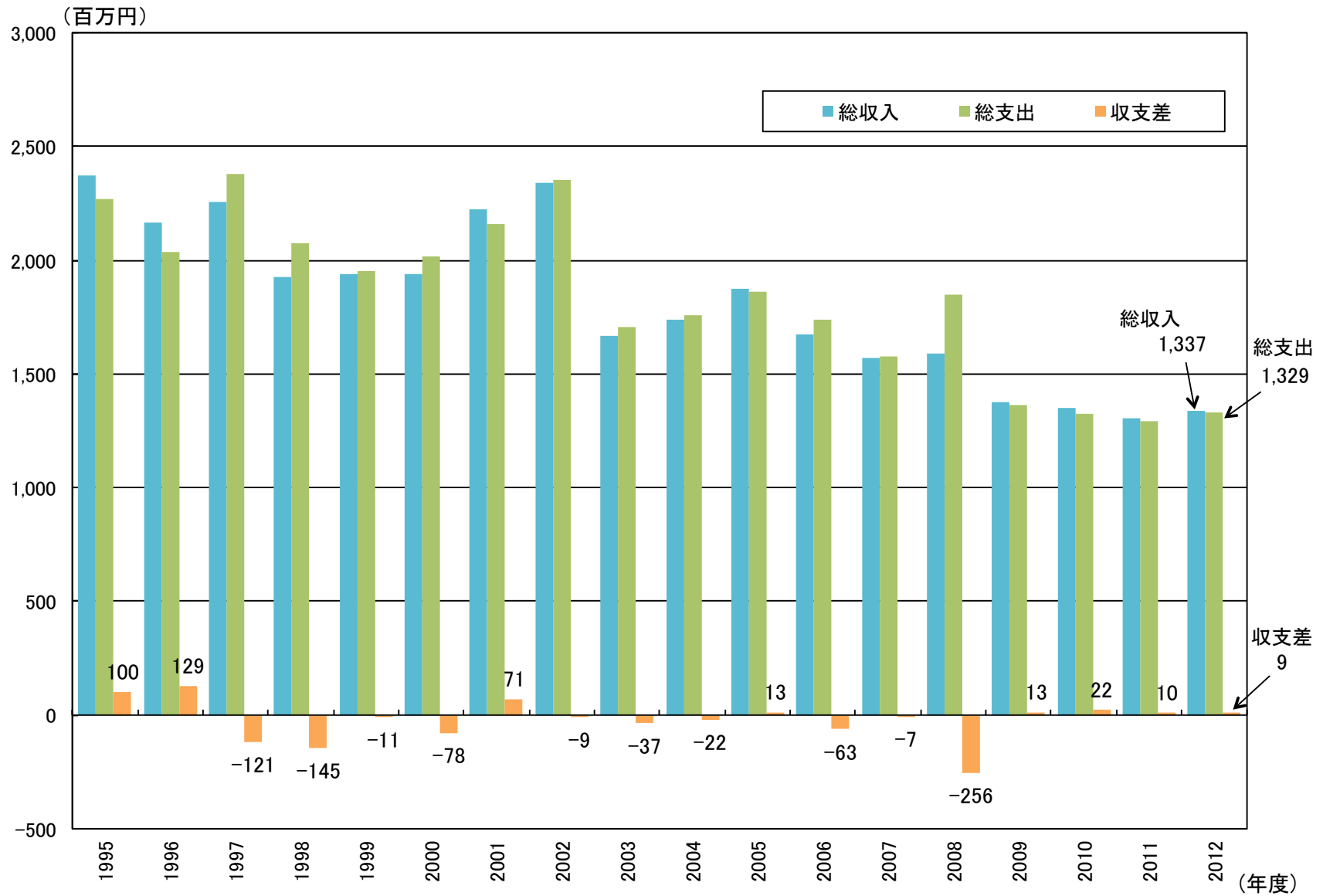


## 1-1-2-4 (2) 年齢階層別の性別会員構成



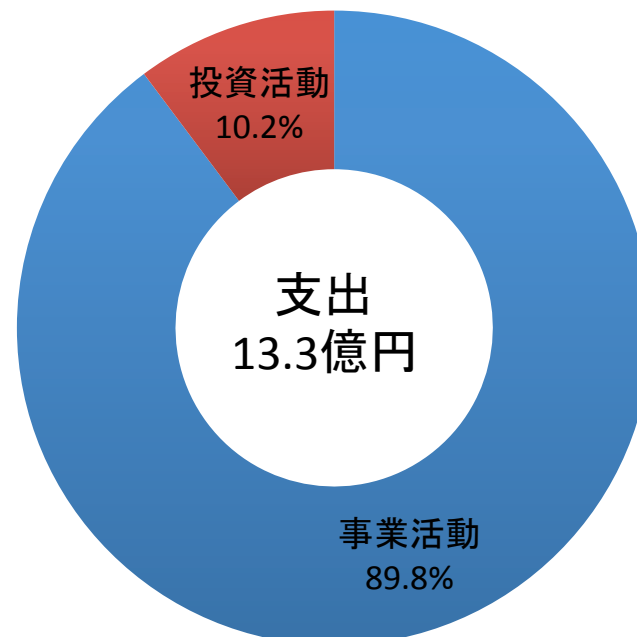
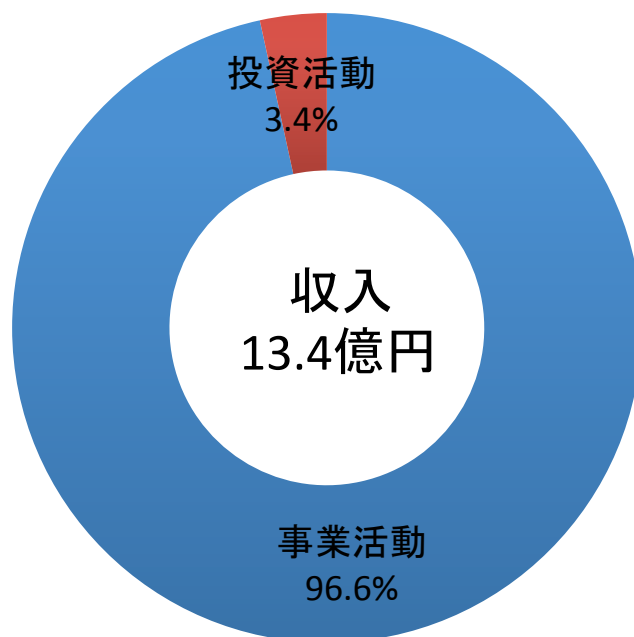
※2013年3月末現在。個人会員(正会員+学生会員)の合計。  
※数字は女性会員数。  
※教育企画・人材育成委員会 ダイバーシティ推進小委員会調べ。

### 1-1-3-1 (1) 総収入と総支出の推移



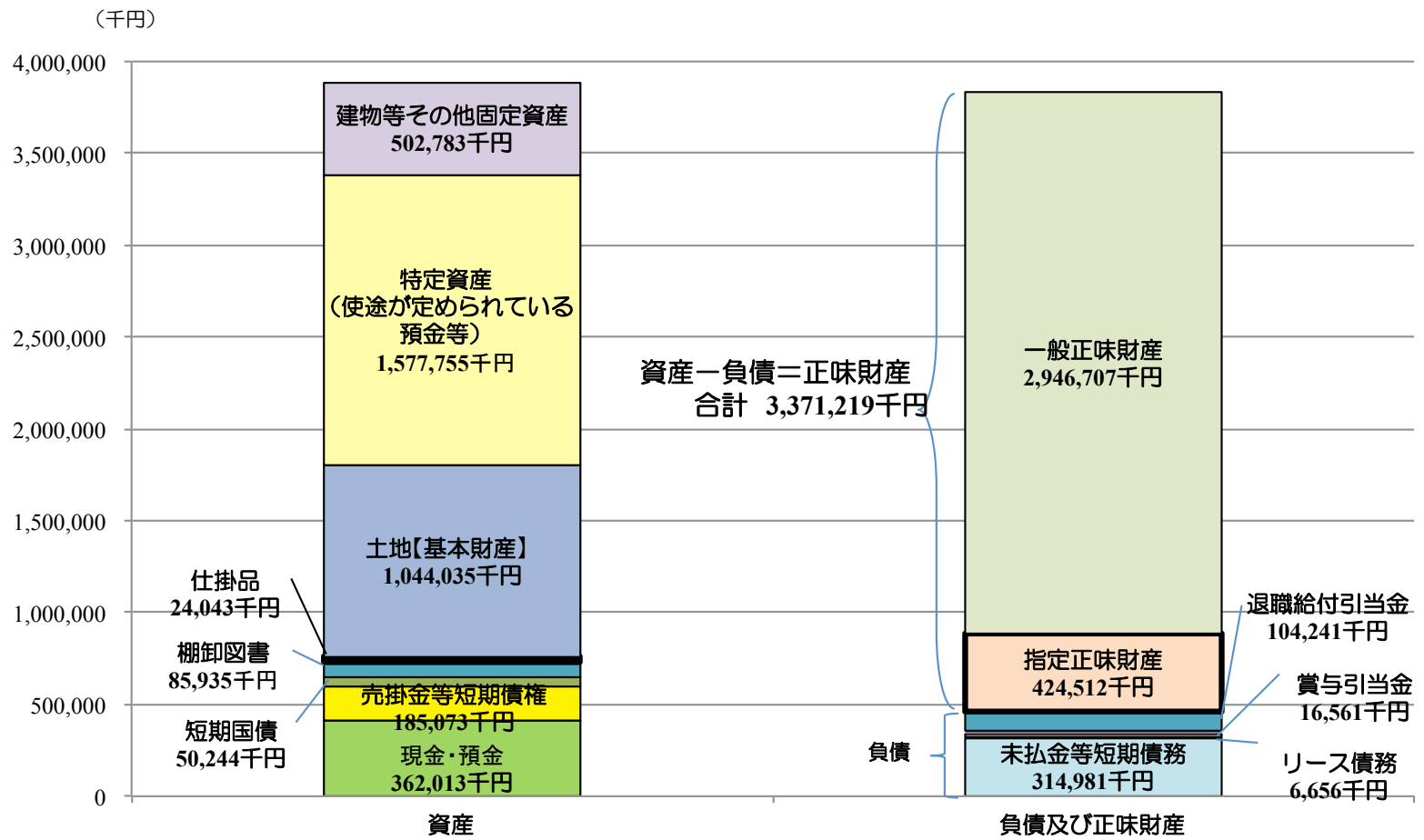
注: 数字は収支差(単位:百万円)

## 1-1-3-1 (2) 目的別収支内訳



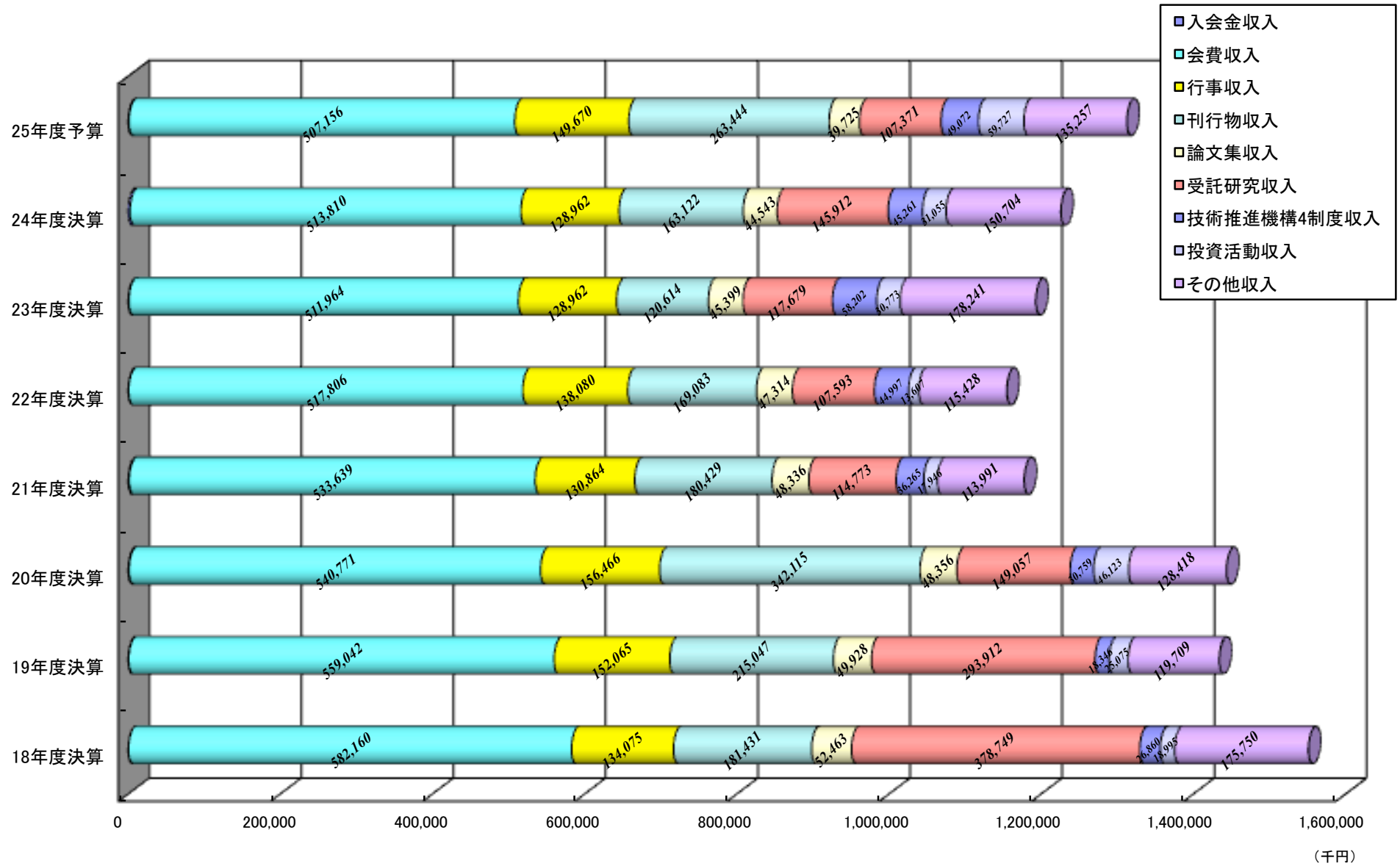
注:2012年度の数值。

# 1-1-3-2 財産の状況



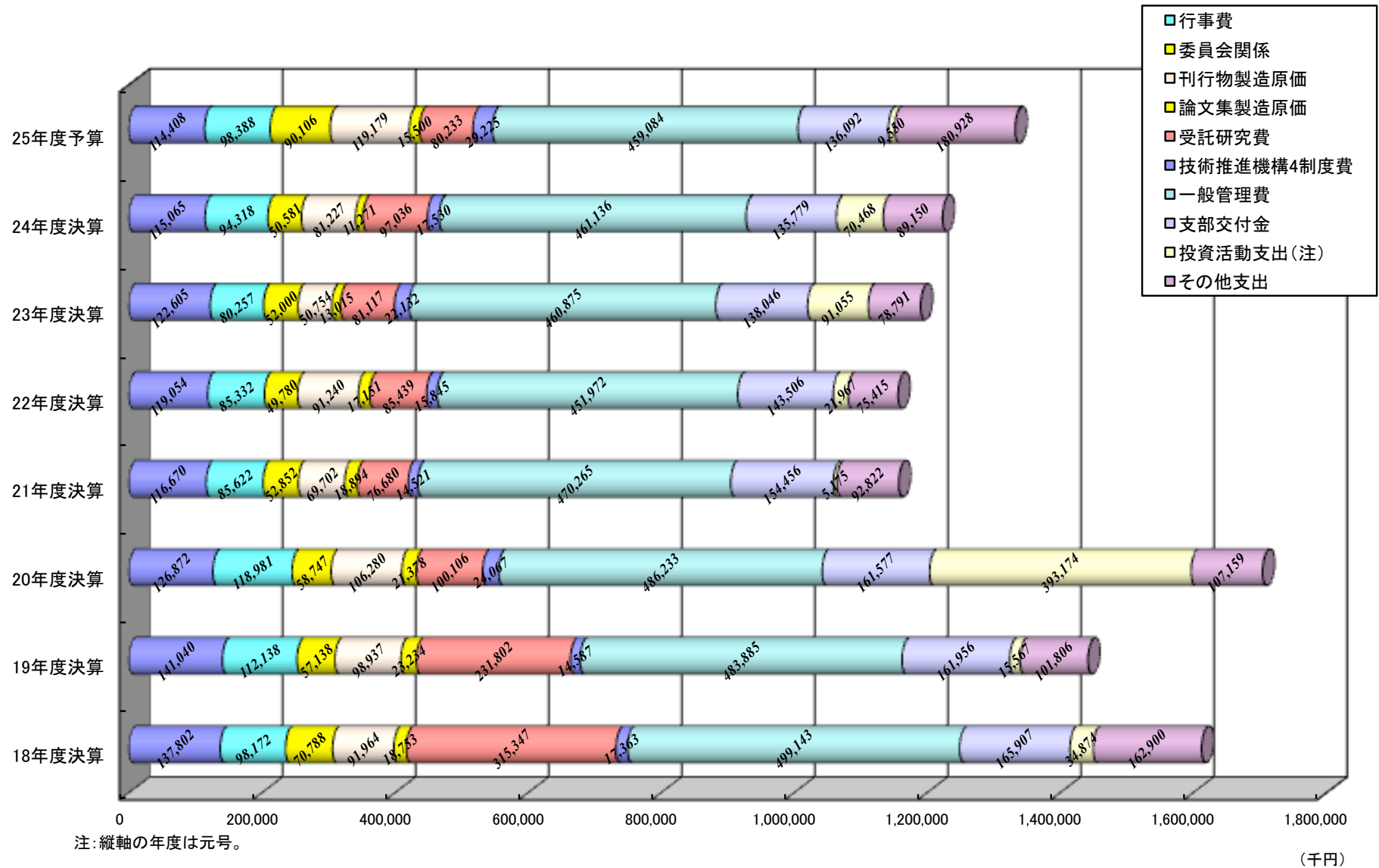
注: 2012年度末の数値。

### 1-1-3-3 (1) 本部収支の推移(収入)

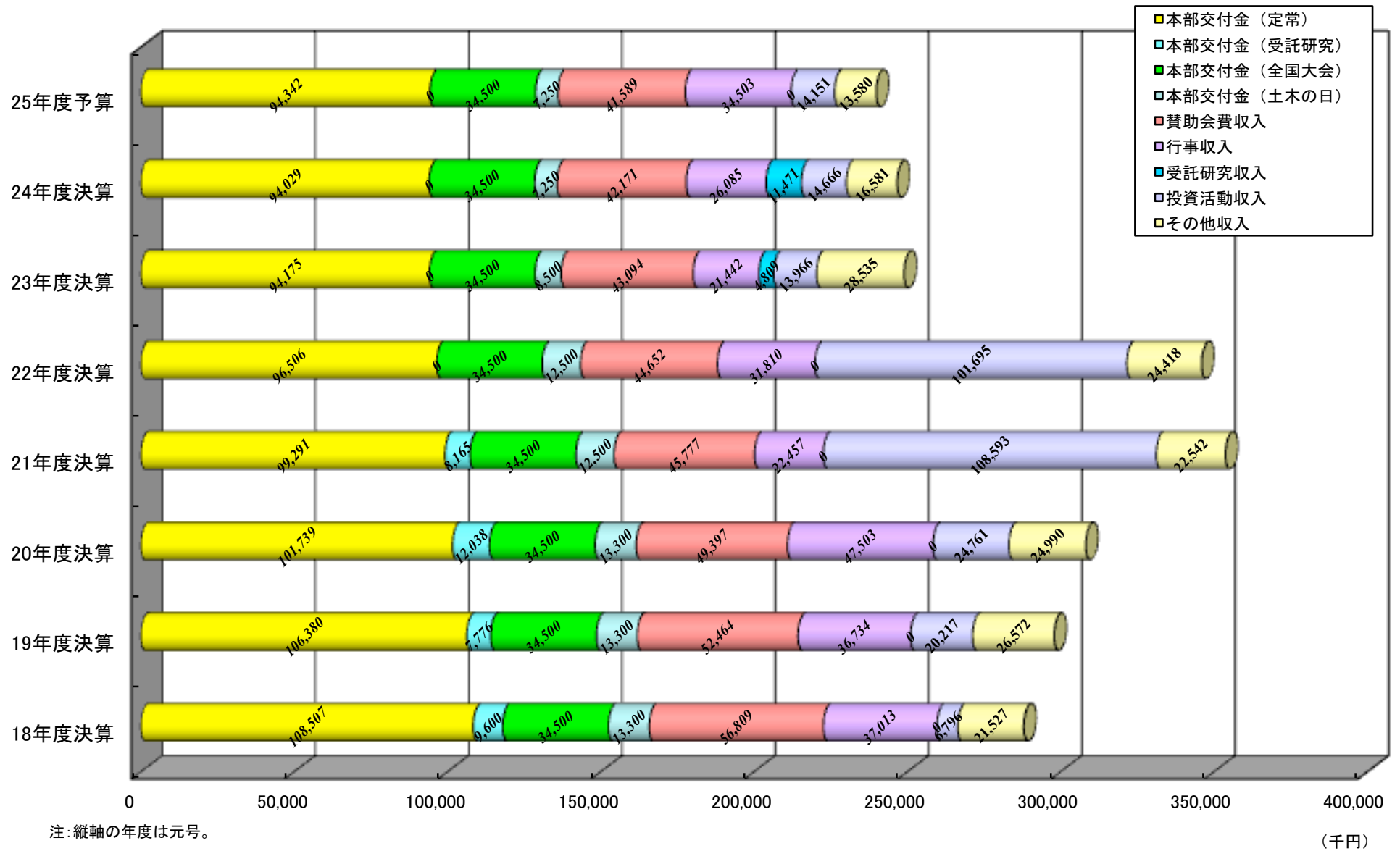


注: 縦軸の年度は元号。

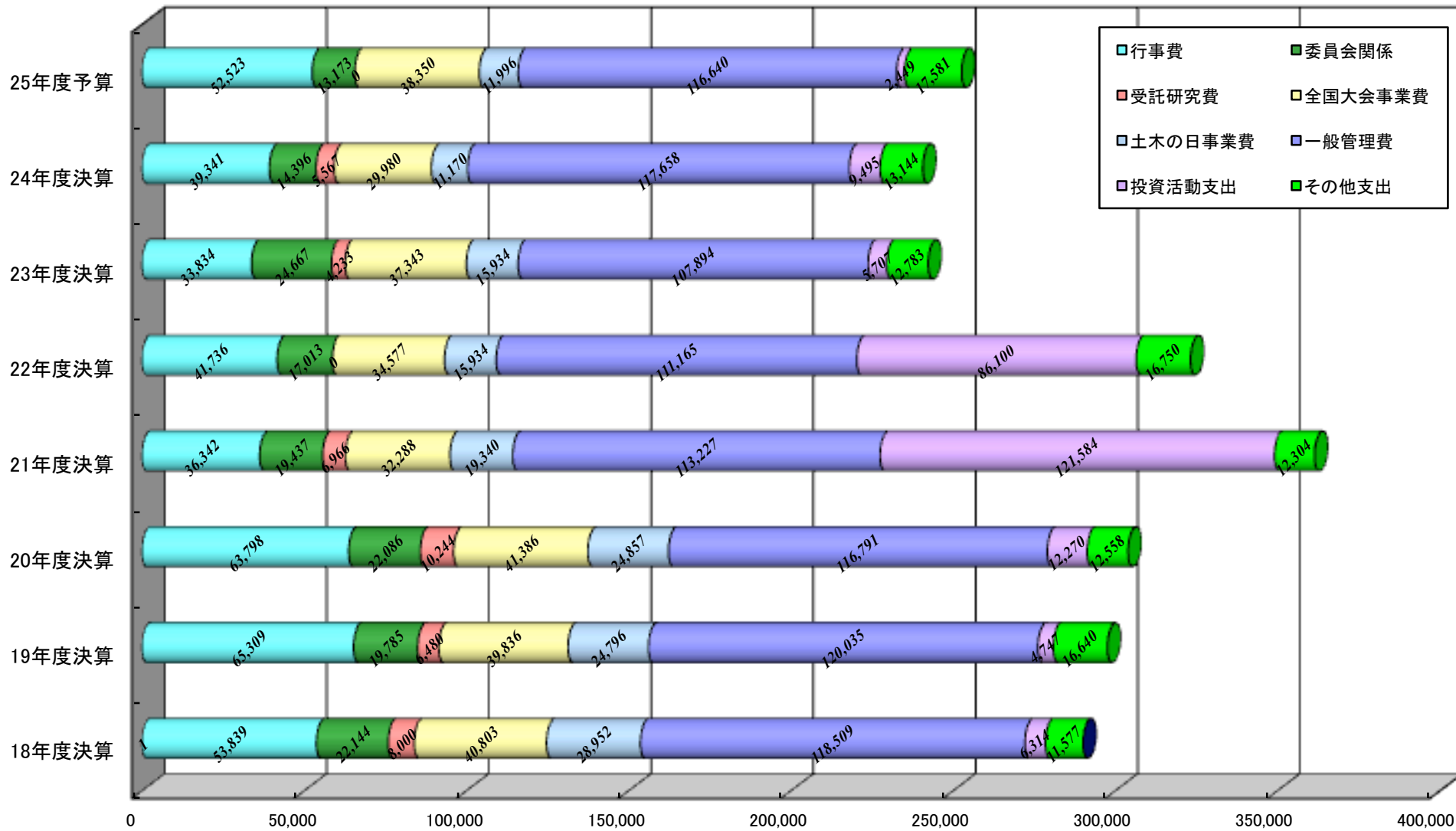
### 1-1-3-3 (2) 本部収支の推移(支出)



# 1-1-3-4 (1) 支部収支の推移(収入)



# 1-1-3-4 (2) 支部収支の推移(支出)

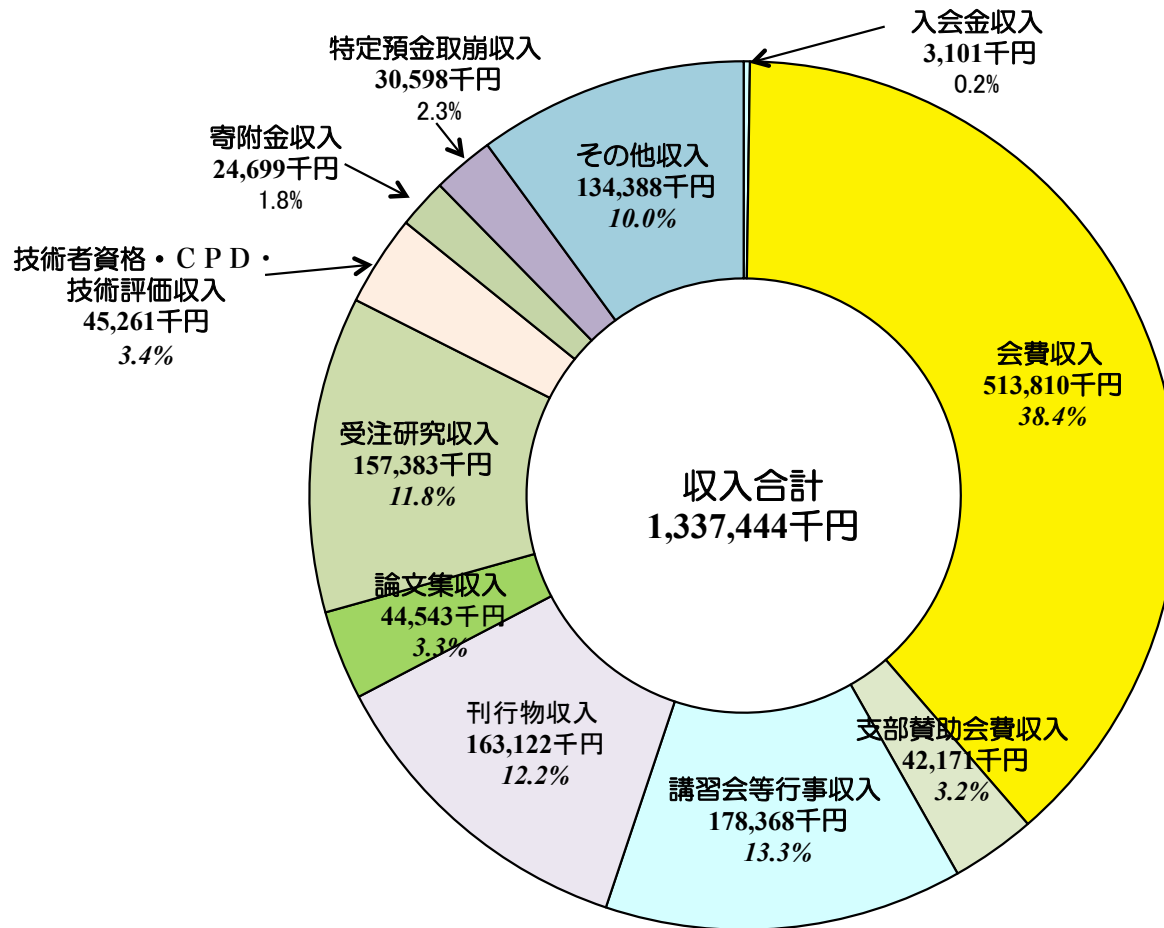


注: 縦軸の年度は元号。

(千円)

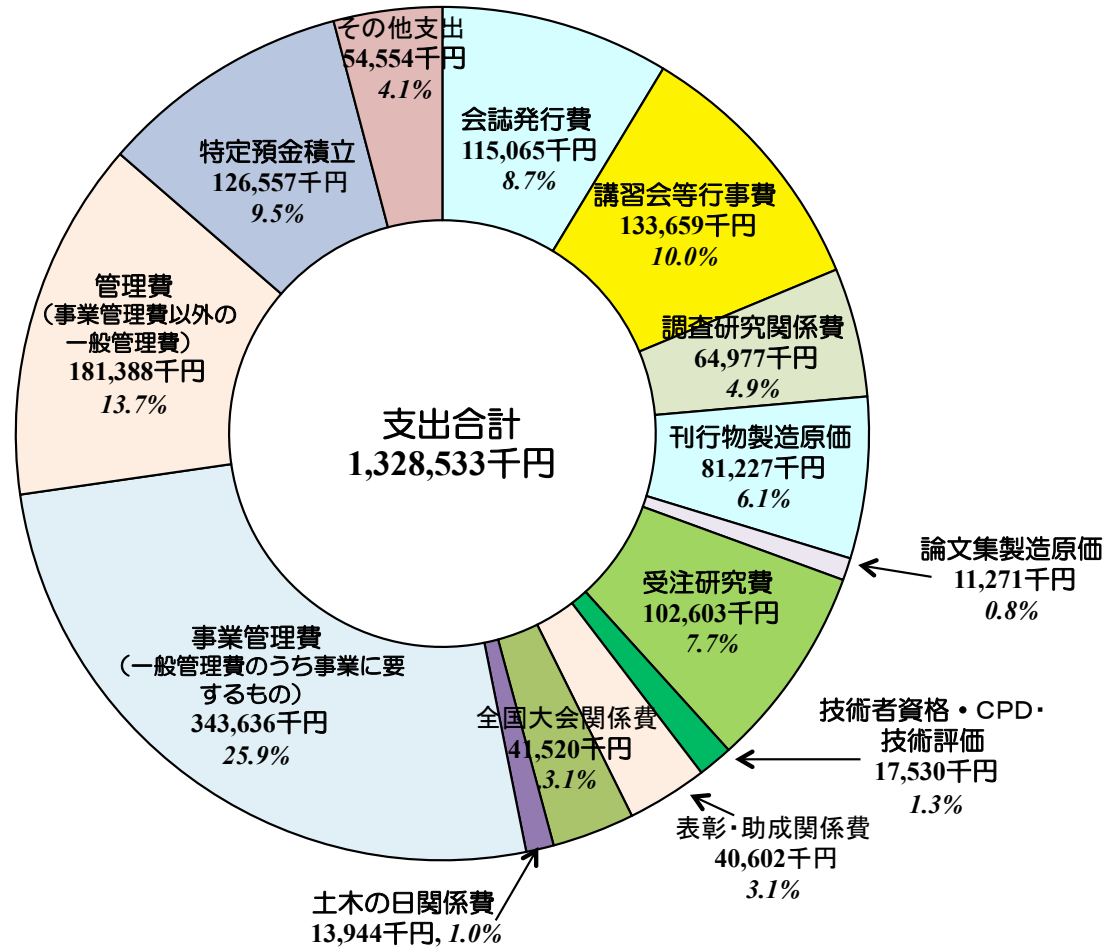


# 1-1-3-5 (1) 収入の内訳



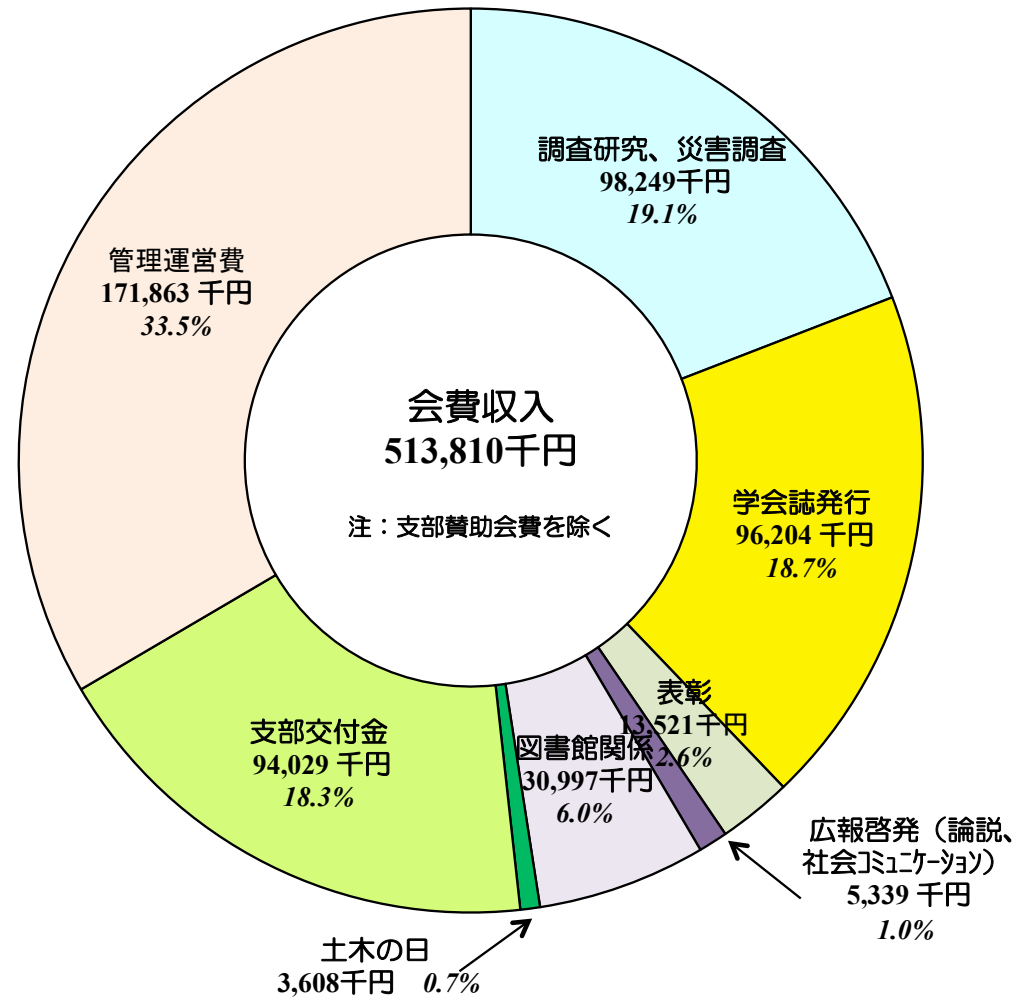
注: 2012年度決算。会費収入の使途

## 1-1-3-5 (2) 支出の内訳



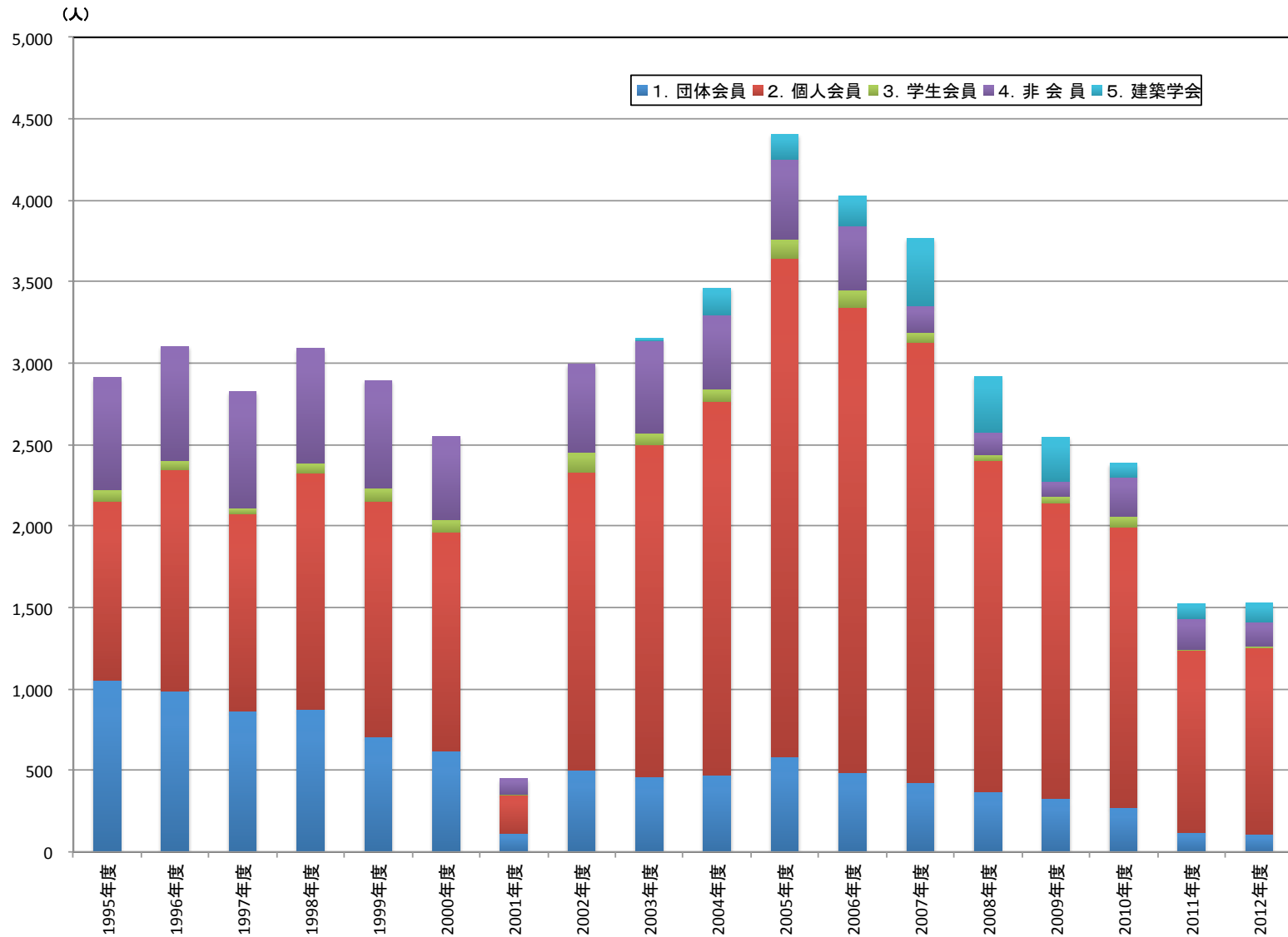
注: 2012年度決算。会費収入の使途

### 1-1-3-6 会費収入の使途



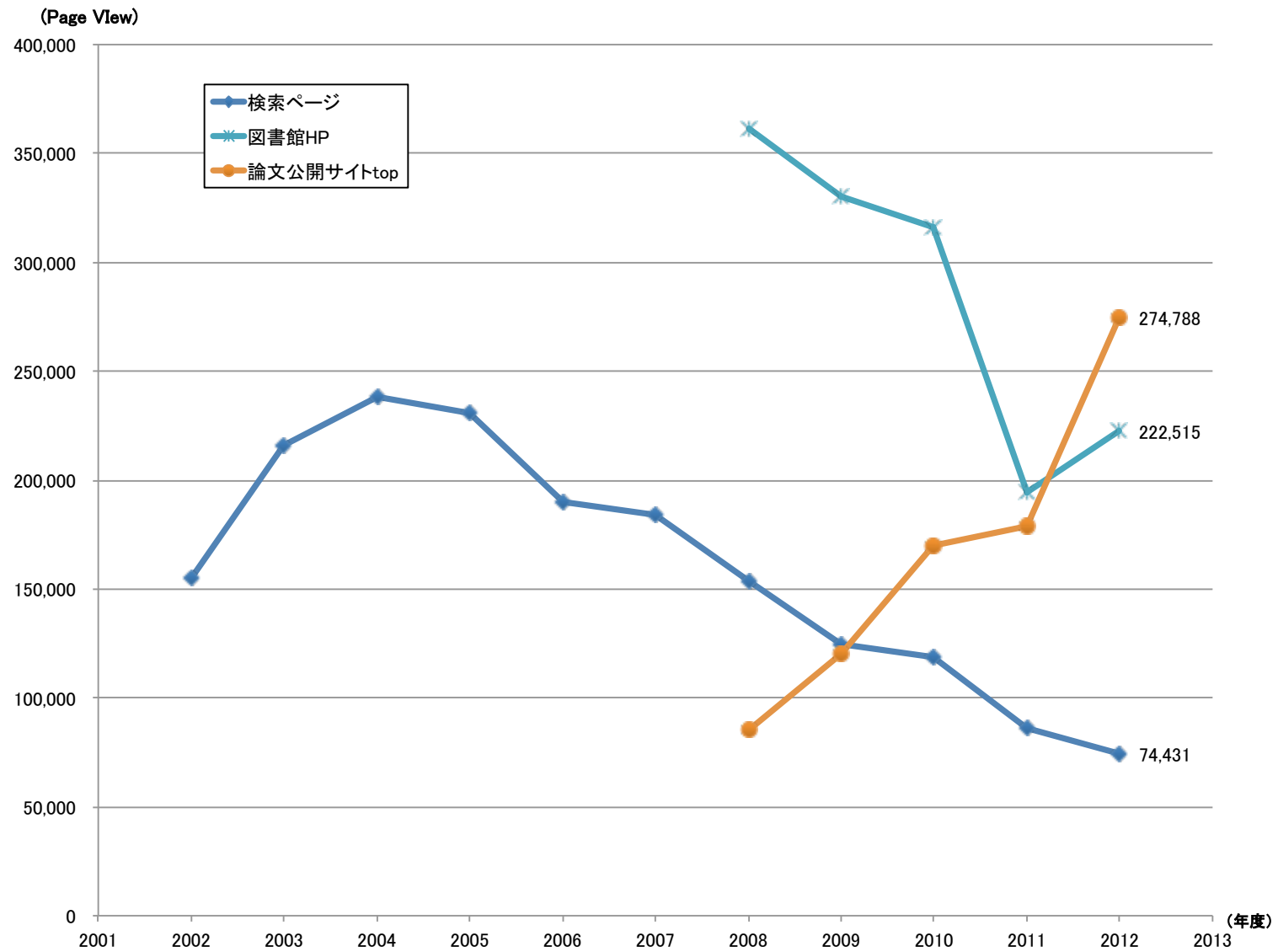
注：2012年度決算。

# 1-3-1-1 (1) 図書館来館者数の推移



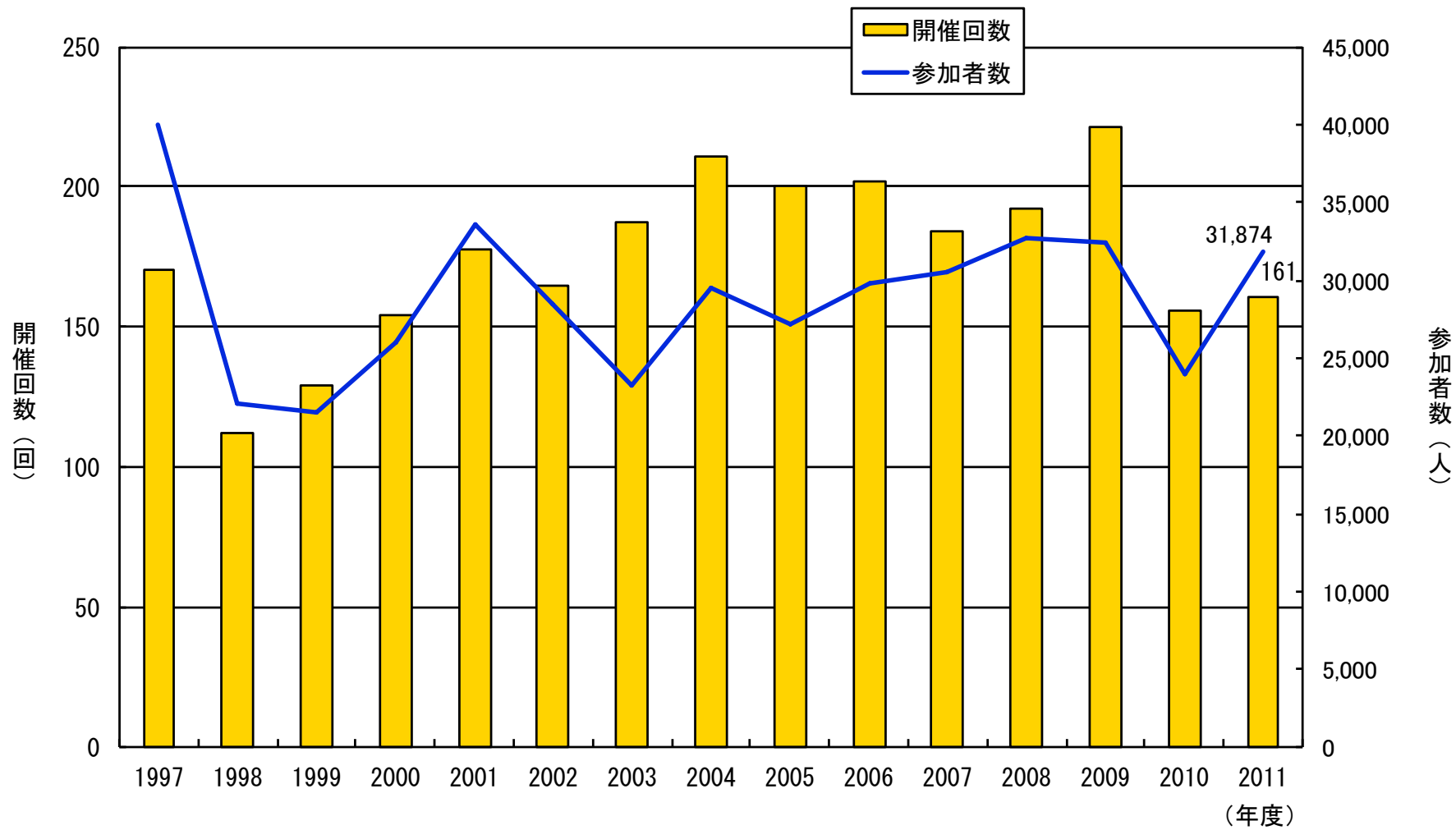
※ 2001年度に改修を実施。  
 ※ 団体会員は、法人会員と特別会員の合計。

## 1-3-1-1 (2) ウェブサイト閲覧数の推移

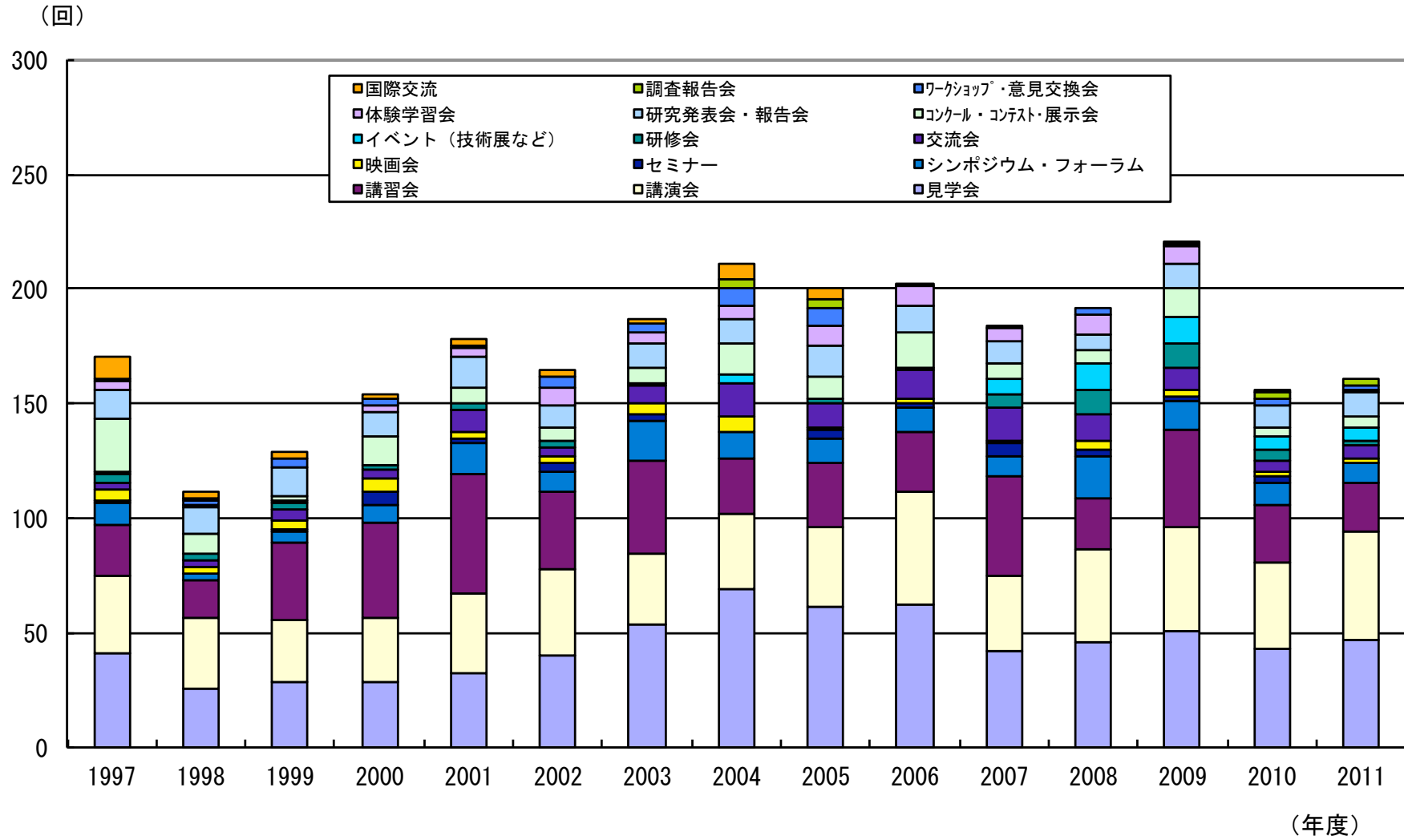


※ 検索ページ: <http://www.jsce.or.jp/library/page/opac.shtml>  
※ 図書館HP: <http://www.jsce.or.jp/library/>  
※ 論文公開サイト top: <http://www.jsce.or.jp/library/open/index.html>

# 1-7-1-1 (1) 支部行事開催回数と参加者数の推移



# 1-7-1-1 (2) 支部行事種別開催回数の推移



### 1-7-1-1 (3) 支部行事種別参加者数の推移

